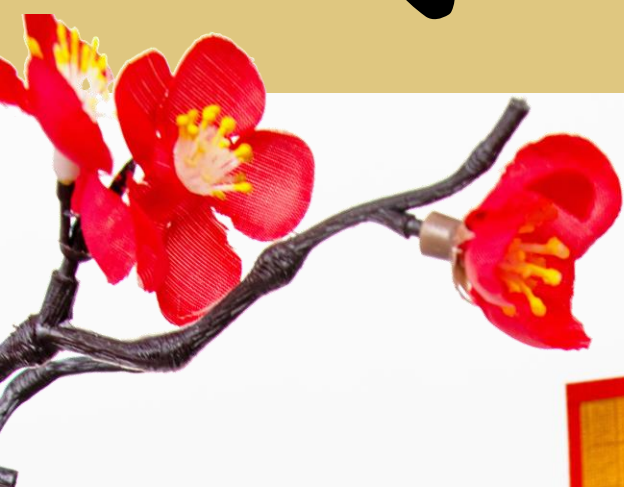


和

66
2024

Osaka City General Hospital





新年のご挨拶

大阪市立総合医療センター
病院長 西口 幸雄



あけましておめでとうございます。
皆様方におかれましては、よき新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、平素より大阪市立総合医療センターをご利用いただきまして、職員一同、心より感謝申し上げます。

大阪市立総合医療センターは昨年12月1日で設立30周年を迎えました。30年前といいますと、日本で最も病院の病床数が多い時期で、一般病床数（一般病床と療養病床）は153万床ありました。その頃をピークに年々病床数は減少し、昨年で116万床になってしまいました。

今後も地域医療構想や少子化などの影響で、ますます病床数は減少していくものと思われます。そういった病床数の減少の流れに逆らい、当センターに入院を希望される患者さんはますます増加しており、日によってはベッドが埋まって、入院ができないこともあります。今後は何とかベッドのやりくりをして皆様方のご要望にお応えできるよう尽力いたします。

新型コロナウイルス肺炎につきましては、もうすでにインフルエンザ並みの扱いになり、皆

様方もそれほど脅威に感じておられないと思われます。現在、当院は通常の診療体制に戻ってはおりますが、まだまだコロナ禍の時のように受診控えはありますが、感染対策には万全の態勢で臨んでおりますので、ご心配なさらず来院されればと思います。

当院は「地域がん診療連携拠点病院」「小児がん拠点病院」「がんゲノム医療連携病院」に指定されており、あらゆる年代のがん患者さんに高度ながん診療を提供しています。救急医療においては「3次救急医療機関」「小児救命救急センター」でもあります。

また、ハイリスク分娩や高度な新生児医療を行える「総合周産期母子医療センター」です。このように当センターでしか治療できないような患者さんが数多くおられますので、がん医療や小児の急性期医療、3次救急や高度な周産期医療を引き受けるのは、当センターの役割として当然であると考えております。

最後になりましたが、本年が皆様方にとって、幸多く素晴らしい年となりますことを心から祈念申し上げ、年頭に当たってのご挨拶とさせていただきます。

令和6年元旦
大阪市立総合医療センター
病院長 西口 幸雄



▲大阪城よりセンターを望む



病院長補佐兼医療連携部部長 川崎 靖子

平成2年3月福井大学医学部卒業。平成5年12月大阪市立総合医療センター消化器内科その後肝臓内科所属。平成21年4月生理機能検査部部長、平成24年4月臨床教育研修部部長、平成26年4月教育研修センター長、令和5年4月病院長補佐、医療連携部部長就任。現在に至る。

Q 当院の患者環境について、どう思いますか？

最寄り駅が、大阪メトロ谷町線『都島』やJR環状線『桜ノ宮』と交通の便はいいと思います。しかし30年前開院の建物であること、敷地面積が少ないことが欠点です。特に外来は、診察室がわかりにくかったり、ピーク時に大混雑や長い待ち時間が発生し、患者さんに大変ご迷惑をおかけしています。時間はかかりますが、わかりやすくしてゆとりのある外来や、知りたいことを検索しやすいホームページ作りなど、患者さんの環境改善について、多職種で話し合い取組んでいます。



Q 病院長補佐や医療連携部部長になつて思うことは？

若い頃は、患者さんを診ることだけが医師の仕事だと思っていました。この立場になって、「病院を診る」という言葉を知りました。現在、病院長の指示で、今の時代にあった医療提供体制への見直しに職員皆で取組んでいます。

患者さんによりよい医療を提供するため、大切な任務だと感じています。また、患者さんが住み慣れた地域の中で、円滑な日常診療を継続できることも重要です。地域医療機関の先生方と意見交換をしながら、さらに連携を強化していきたいと考えています。

Q モットーはありますか？

医師としてのモットーは、『患者さんが十分理解した上で、最善の医療を選択できること』です。病気そのものの不安は消えませんが、最善の選択をすることは安心になります。プライベートのモットーは、『心豊かに暮らす』です。残念ながら、たまに花を飾ることくらいしか実現していません。今年は、ワンパターン料理から卒業し、美味しい食生活の回数を増やすことを、ささやかですが目標にしたいと思います。



がん患者さんとそのご家族の方へ

大阪市立総合医療センターは、厚生労働省より「地域がん診療連携拠点病院」「小児がん拠点病院」「がんゲノム医療連携病院」に指定されています。

※がんに関する情報やイベントについては、院内掲示、パンフレットラック、ホームページをご覧ください。

がん医療支援センター

にんよう せい おん ぞん

妊孕性温存治療をご存知ですか？

～将来、お子様を望まれる小児・若年成人がん患者さんへ～



妊孕性（にんようせい）とは、「妊娠するために必要な力」のことを言います。

がん治療は、妊孕性に影響を及ぼすことがあり、将来ご自身で子どもをもつことが難しくなる場合があります。がん治療を始める前に、卵子・精子などを保存しておくこと（妊孕性温存治療）で、子どもを授かる可能性を残せるかもしれません。

まずは、主治医やスタッフ、がん相談支援センターへご相談ください。

ステップ1

主治医から説明を受けましょう

がんの状況やあなたの受ける治療が妊孕性に与える影響を主治医に聞いてみましょう。治療によっては、妊孕性の心配をする必要がない場合もあります。また、がんの治療に入るまでにどの程度の期間があるかも確認しておきましょう。

ステップ2

ご家族や周囲の方と

相談しましょう

～がん相談支援センターを
ご利用ください～

がんと診断されて間もない時期は、混乱もあり精神的にもつらい状況にあります。一人で悩まず周囲の助けを借りましょう。

がん相談支援センターでは、妊孕性温存の流れや費用について説明し、意思決定のお手伝いをしています。

ステップ3

生殖医療の専門医療機関を
ご紹介します

妊孕性温存治療を希望される場合は、主治医へお申し出ください。診療情報提供書を作成し、生殖医療の専門医療機関をご紹介します。温存を迷われている方も、カウンセリングのみの受診ができますのでご相談ください。

ステップ4

自治体から助成金を受けられる場合があります

妊孕性温存治療は自費診療ですが、治療内容や年齢等が条件に合致する場合は、お住まいの自治体から助成金を受けることができます。大阪府の場合、卵巣凍結40万円・卵子凍結20万円・精子凍結2万5千円などの補助があります（2023年11月現在）。詳しくはがん相談支援センターにお尋ねください。

1階ロビーの
パンフレットを
ご覧ください



大阪府がん患者等妊孕性温存治療費等助成事業→
(大阪府ホームページ)

冊子「がん治療前の妊孕性・生殖機能温存」→
(大阪がん・生殖医療ネットワーク)



がん相談支援センターに
ご相談ください。

電話：06-6929-3632(直通)

窓口：病院 1階 総合医療相談窓口

相談は無料、匿名の相談も可能です。

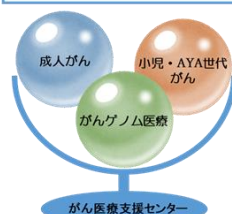
冊子「がんと診断されたあなたに知ってほしいこと」→
(がん情報サービス)

がん患者さん・ご家族への支援について→
(当院ホームページ)

がんに関するWeb公開講座→
(当院ホームページ)



全ての年代のがん患者・家族



がん医療支援センターは、すべての年代のがん患者さんとそのご家族を支援します。

コロナ禍で3年間閉鎖していましたが・・・ 当院の緩和ケア病棟が再開しました

当院で治療を受けた患者さんが対象です



当院の緩和ケア病棟は、厚生労働省から緩和ケア病棟として認可された病棟で、医療費は治療内容に関わらず定額となっております。
全室個室で、特別室・有料個室・無料個室の3種類を用意しています。
入院の対象となる患者さんは、当院で診断治療を受け、現在は抗がん治療を行わないがん患者さん、あるいはAIDS患者さんです。

小児用ユニバーサル・ワンダールームがあります
無料で入っていただけます



外来や在宅への移行も支援しており、患者さんの意思を尊重し、身体や心の苦痛の緩和を最優先に考え、家族とともに大切な時間を過ごせるように環境を整えています。また、継続した看護を提供できるように関連職種と連携しチーム医療を提供しています。



面会は24時間可能 付き添い10K
お子様との面会にも制限はありません
ペット面会もOK 病室ではできません

Q ○○○って・・・どんなところなん？

A 医療ソーシャルワーカー(MSW)に聞きました！

Q : MSWって何の略語？

A : MSWとは、Medical Social Worker (医療ソーシャルワーカー) の略で、医療機関で働く福祉分野の相談員です。当院に在籍している16名は社会福祉士の国家資格を持っています。



Q : どんな仕事？

A : 病気やけがによって、患者さんやご家族、周囲の方も、多くの悩みや課題を抱えます。そんな方々の相談に乗り、安心して療養していただけるよう支援をおこないます。具体的には、制度の活用方法の提案や社会資源の紹介、転院・退院の調整など様々です。地域の医療機関や関係機関、職場や学校、各種支援団体、NPOなどあらゆる社会資源と連携し、患者さんの社会復帰と療養生活を支えています。



お薬豆知識



☆医薬品の供給不足・・・なぜ？



いつものかかりつけの調剤薬局などで薬を受け取ろうとすると、「この薬、不足しています・・・」などと言われて、すぐに薬を受け取ることが出来ないという事例が多発しています。そもそもなぜこのような事態になっているのか、また、どんな薬が不足しているのか、不安は尽きないところです。

要因として、製薬会社での医薬品の製造工程や試験結果の逸脱等が次々と明らかになったことや、海外での原材料の不足により、医薬品の出荷調整や供給停止が相次いでいることが挙げられます。また、インフルエンザや新型コロナウイルスなどの感染症が拡大し、一部医薬品の需要が極端に伸びていることも大きく影響しています。

どんな薬が不足しているのかにつきましては、日本製薬団体連合会は医薬品の販売・供給の状況について製薬会社に定期的に報告を求めている、その結果をホームページで公表しています。¹⁾

今後の解消の見通しですが、問題があったメーカーの製造手順などを改善するためには国なども協力しなければならず、医薬品メーカーの製造のキャパシティも考えるとあと2年、長ければ3年くらいかかるのではないかと、との予測がされており、引き続き、状況を注視していく必要があります。²⁾

大阪市立総合医療センター

薬剤部 井口 勝弘



参考資料

- ※ 1) 日本製薬団体連合会 : <https://www.fpmaj.gr.jp>
2) NHK首都圏ナビ : <https://www.nhk.or.jp>

連携登録医のご紹介

かかりつけ医とは、病気になったときなどにすぐに相談できる地域にある医院やクリニック、診療所などのお医者さんです。日常的に相談でき、緊急の場合にも対処してくれるかかりつけ医をもちましょう。



高田医院

院長 高田 淳
診療科 内科 小児科 循環器内科
住所 大阪市城東区関目1-13-17
電話 06-6931-3174

外来	月	火	水	木	金	土
午前 (9:00~12:30)	○	○	○	○	○	○
午後 (17:00~19:00)	○	○	○	×	○	×



高田院長

院長あいさつ

循環器内科という専門医の視点を兼ね備えた、「かかりつけ医」を目指しています。患者様が抱えておられる不安な思いやその背景をくみ取って、患者様のお気持ちを少しでも軽くするような対応をモットーにしています。十分な説明と患者様に応じたきめ細かい診療で、納得できる医療を心掛けています。気になる症状や、健康上の不安や疑問があれば、お気軽にご相談ください。

いわた脳神経外科クリニック

院長 岩田 亮一
診療科 脳神経外科 脳神経内科 外科
住所 大阪市城東区成育2-13-27-1B
電話 06-6935-2335

外来	月	火	水	木	金	土
午前 (9:00~12:00)	○	○	○	○	○	○
午後 (13:00~16:00)	○	○	○	○	×	×
午後 (16:00~19:00)	○	○	○	○	×	×



岩田院長

院長あいさつ

当院では、気軽にすぐにMRI検査が受けられて、専門家による詳しい説明を行うことで病気の予防に努めたいと考えています。認知症の相談、生活習慣病（高血圧、高脂血症、糖尿病、不整脈など）の予防や治療、脳卒中のリスクを高める睡眠時無呼吸群の治療にも対応いたします。また、頭痛専門医による片頭痛外来や赤ちゃんの頭の形外来にて、ヘルメット治療も対応し、赤ちゃんから年配の方まで受診いただけます。

※【脊椎・しびれ外来】月曜（9:00~1:00）木曜（13:00~19:00）
【動脈硬化外来】月曜（14:30~19:00）木曜（14:30~19:00）

おおや内科ハートクリニック

院長 大家 理伸
診療科 循環器内科 内科
住所 大阪市城東区今福東3-10-18-1F
電話 06-6180-0307

外来	月	火	水	木	金	土
午前 (9:00~12:00)	○	○	×	○	○	○
午後 (15:30~18:30)	○	○	×	○	○	×



大家院長

院長あいさつ

高血圧、脂質異常症のような生活習慣病、心臓病、血管疾患、不整脈の診断・治療を得意としています。生まれつきの心臓疾患のアフターフォローもお気軽にお問い合わせください。総合内科専門医でもありますので、内科疾患全般の対応が可能です。内科領域以外の疾患においても、患者さんがご希望されれば可能な範囲でかかりつけ医として一括して診療させていただきます。小児診療については小学生以上の方を対象とさせていただきます。

迷ったらコレ！簡単レシピ ●●● 栄養部 高橋寛子

管理栄養士が、簡単にできる栄養バランスのレシピを紹介。おいしく健康なカラダづくりをしましょう

#03

鮭とブロッコリーの ミルク煮

所要時間：20分

栄養価（1人分）
エネルギー：248kcal
たんぱく質：21.7g
脂質：16.7g 炭水化物：8.9g
塩分：1.4g



ポイント

旬の食材～ブロッコリー～

1年中スーパーで手に入れやすいブロッコリーですが、冬～春にかけて旬を迎え甘さも増します。緑黄色野菜であるブロッコリーには、ビタミンA・C・Eが豊富に含まれています。ビタミンA・C・Eは抗酸化作用を持つ栄養素で、老化防止や免疫力を高める効果があります。寒くなり風邪や感染症にかかりやすくなるこの季節には積極的に摂りたい栄養素の一つです。今回は忙しい朝でも簡単に作れる、寒い季節にぴったりなメニューのご紹介です。

材料（1人分）

ブロッコリー・・・1/3株
鮭・・・1切れ（今回使用分は約80g）
塩・・・少量
油・・・適量
水・・・50ml
牛乳・・・100ml
コンソメ・・・小さじ1/3
胡椒・・・お好みで

つくりかた

- ①ブロッコリー、鮭を一口大に切り軽く塩をふる
- ②鍋に油を熱し、①を焼く
水を加えた後、蓋をして弱火～中火で蒸し焼きにする
- ③火が通ったら、牛乳・コンソメを加え弱火で軽く温める
- ④火を止め器に盛り、お好みで胡椒をかける



牛乳は温度が上がると膜がはり分離しやすくなります。加熱は少し温める程度にしましょう。

●外来にて、栄養相談・栄養指導行っています。ご希望される方は主治医へご相談ください。

★インフォメーション★

大阪市立総合医療センター
第8回 Web開催
慢性腎臓病（CKD）セミナー

配信期間 2024年2月27日（火）12時～3月12日（火）12時

視聴方法 下記①から③のいずれかの方法にてご視聴ください

- ① 病院のホームページへアクセス
- ② 右のQRコードからアクセス
- ③ 下記視聴URLを直接入力でも可能です
<http://onl.tw/qdEWP8>

プログラム
あいさつ 腎臓・高血圧内科部長 小西 啓夫

① CKDの治療～電解質異常に注意～ 腎臓・高血圧内科部長 北林 千津子

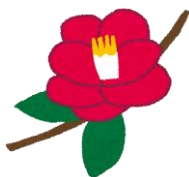
② 薬がリスクにならないために～カルシウムと骨の薬～ 薬剤師 大塚 遼平

③ 腎臓を守るための食事～カリウム制限～ 栄養士 野馬 和

主催：大阪市立総合医療センター・腎臓病専門センター
協賛：大阪市立総合医療センター・地域医療連携センター
〒534-0021 大阪市都島区都島本通2-13-22 TEL: 06-4929-1231 (代表)

第8回 慢性腎臓病（CKD）セミナー WEB開催決定！

2024年2月27日（火）12：00
～3月12日（火）12:00



大阪市立総合医療センター
第4回
大阪下垂体セミナー

配信期間 3月15日（金）12:00～3月29日（金）12:00

視聴方法 ① 病院のホームページへアクセス
② 上のQRコードからアクセス
③ 下記視聴URLを直接入力でも可能です
<http://onl.tw/qdEWP8>

プログラム
「間質性腎臓病に対する外科治療：小児疾患と成人疾患の違い」
「適切なトランジションの取り組みを求めて」
「症例から学ぶ小児下視丘性機能低下症の診断・治療」
「トランジション期から成人期以降の下視丘性機能低下症のマネジメント」

主 催：大阪市立総合医療センター・内分泌科
共 催：下視丘性機能低下症専門センター
後 援：大阪市立総合医療センター・地域医療連携センター
〒534-0021 大阪市都島区都島本通2-13-22 TEL: 06-4929-1231 (代表)

第4回 大阪下垂体セミナー WEB開催決定！

2024年3月15日（金）12：00
～3月29日（金）12:00

●市民向け講演会の案内です。
詳しくは当院ホームページで
確認をお願いします。

読者アンケートのお願い



今後のよりよい広報誌づくりのため、次のアンケート
フォームより皆さまのご意見をお聞かせください。

<https://forms.gle/ZkTH64LoxDvu55VQ9>

■発行責任者：大阪市立総合医療センター
〒534-0021 大阪市都島区都島本通2-13-22
<http://www.osakacity-hp.or.jp/ocgh/>

地域医療連携室

大阪市立総合医療センター

検索

